



富士章受章スカウトの皆さん おめでとうございます



富士章受章スカウト県知事表敬訪問 3月25日(水)静岡県庁特別第2会議室にて



CONTENTS

富士章受章スカウト県知事表敬訪問	2	いつも元気だっ!ビバーだより	10
富士章受章スカウトのことば	3	カブつうしん	10
2019年度日本連盟トレーナー研修会	4	ボーイ通信	11
Facebook活用講座	5	指導者だより	12
志太地区BP祭	6	おめでとう17名の友情章	14
三島地区BP祭	7	マスコミコーナー	15
発達障がい児スカウティング研修会	8	おしらせコーナー	16
若き指導者《第5回》	9	・定時総会及び指導者養成事業の延期について	
		・3TCデザイン受賞作品の紹介	

告知!

令和2年度 県連盟定時総会 開催

日時：令和2年6月6日(土) 会場：静岡市清水区 清水テルサ

令和2年4月

第159号

令和元年度 富士章受章スカウト県知事表敬訪問 2020年3月25日(水) 静岡県庁特別第2会議室にて



知事、スカウトへ思いを語る



令和元年度の富士章スカウトの県知事表敬訪問が行われました。受章スカウト12名のうち8名と村松理事長ほか県連役員が出席しました。受章スカウト代表として浜松12団の中嶋みと葉さんが川勝県知事に「この章を取得するうえで自己への理解を深め、仲間や指導者、そして家族の支援の大切さを知り、これがスカウティングにおける最上点ではなく、社会に出るためのスタートラインに立った証であると思っています。今後はスカウト活動におい



スカウト代表挨拶



村松理事長の挨拶

ても、人生においても、これまでの出会いと学びを活かして更なる成長をしていきます。そしてお世話になった方々、地域、社会に感謝し、また世界に貢献していく人間になっていきたいと思ひます」と喜びと将来への決意を伝えました。この後、静岡県連盟の連盟長でもある川勝県知事から受章記念の盾がスカウト一人一人に手渡され、出席者全員で記念撮影が行われました。



受章記念盾の授与



受章記念盾の授与

令和元年度富士章受章スカウト喜びのことば

受章者の皆さんおめでとうございます



井口 佳晃 三島地区 三島第5団
富士章を取得できたのは、これまで活動を支えてくれた多くの指導者や家族、仲間のおかげです。今後は自らが良き手本となり、後輩スカウト達の手助けをするとともに、自分自身も成長出来るよう努力して行きます。



青野 隆一 志太地区 大井川第3団
富士章を受章できたのは、隊長方が親身になって私を支えてくれたのおかげです。今までの経験をこれからに活かし感謝の心を持って、恥の無いようにさらなる成長を目指していきたいと思います。



吉田 隼都 三島地区 三島第5団
名誉ある富士章を取得できたことを、本当に嬉しく思います。今後の活動で、支えてくれた指導者や親、自他団の仲間への感謝を返せるように、引き続き自己研鑽を重ね、成長していきたいと思います。



齊藤 沙那 志太地区 焼津第1団
私が富士章を取得できたのは、本当に支えて下さった周りの方々のおかげであり、心から感謝しています。ここまでスカウト活動をしてきて本当に良かったです。



飯田 和大 三島地区 三島第5団
支えてくれた指導者や家族、友人のお陰で富士章を取得することが出来ました。これからは、かつての自分のように富士章に憧れる後輩の手本となるよう、よりいっそう努力して行きます。



長島 陽菜 浜松地区 浜松第7団
視覚障害があり、一度は困難と言われていた富士章取得。大変なことも多々あった中で「諦めず最後までやり抜く大切さ」を学び、壁を乗り越えて取得できたその章と達成感は私にとって最高の宝物です。今後もスカウトの手本になれるよう、努力し続けたいです。



和田葉瑠香 富士地区 富士第9団
受験勉強と富士章への挑戦の両立は大変な時もありましたが、隊長をはじめとした様々な方に支えて頂き、最後まで頑張り抜くことができました。これからも富士章という誇りと責任を胸に、より一層スカウト活動に励みたいと思います。



太田 達也 浜松地区 浜松第7団
富士章という大きな目標を達成することができて本当に嬉しく思います。つらく感じることもありましたが、応援してくれた指導者、仲間達、家族に感謝しています。これからは富士スカウトの名に恥じない良きスカウト、良き指導者になっていきます。



外山 航 富士地区 富士第9団
富士章取得に際し、多くの方と話す機会が増えました。そんな時私はいつも「ちかいとおきて」を思い出すようにしています。「礼儀正しく、誠実で、仲間を信じ、感謝を忘れない」このことばを支えに今後も精進していきたいです。いろいろな面から支えてくれた指導者の方々、家族、仲間みんな、本当にありがとうございました。



中嶋みと葉 浜松地区 浜松第12団
富士スカウト章の取得、全国スカウトフォーラムへの参加、2度目のWSJへの参加など充実した経験をした4年間。これらの経験を今後のスカウティング、人生で活かしていきます。部活動で忙しかった私を支援して下さいました親、仲間、指導者に感謝申し上げます。



柴田 慶紀 静岡地区 静岡第22団
この章はここまで支えて下さった両親や仲間たちのお陰で受章出来ました。今後は自衛官として「神と国に誠を尽くし、おきてを守り」、「いつも他の人々を助け」、「体を強くし心を健やかに徳を養い」勤務していこうと思います。



袴田 僚 浜松東地区 浜松第24団
5歳から13年間に亘って続けてきた活動。ただ楽しいだけで参加していましたが、今となっては自分を大きく成長させ、素晴らしい仲間と出会う場になりました。富士章を取るに至るまで多くの人にお世話になりました。これまでの経験を自分の未来にそして未来の子供たちのために生かしていこうと思います。

2019年度日本連盟トレーナー研究集会

日時: 2020年2月2日(日) 場所: 静岡県青少年会館



トレーニングチームディレクター **岡村 資和**

日本連盟 栗田ディレクター

2月より全国各地で開催される、日本連盟トレーナー研究集会が、2月2日に日本連盟の栗田ディレクターを迎え、静岡県青少年会館を会場に開催されました。静岡県連盟では、毎年「中部ブロック静岡会場」として開催をしています。静岡県連盟所属のリーダートレーナー12名、副リーダートレーナー26名、県外15名の参加者がありました。2019(令和元年)年度日本連盟指導者養成関係事業の主な取り組みの報告、令和2年度指導者養成関連事業の取り組みの予定について伝達され、成人指導者の支援をより良いものにするため、トレーニングチーム全体の底上げと活性化を目指し研究をしました。また、令和2年度に改定されるボーイスカウト講習会の主旨とセッション内容について説明があり、講習会運営の注意点や、セッション展開のポイントなどが改訂された運営ハンドブックに沿って説明されました。

研究テーマを「トレーナーの質の向上」として7つのグループに分かれ、「講習会のセッションの展開方法」「スキルトレーニングに」についてグループ研究をしました。講習会については、セッション内容の深い理解と展開方法について検討し、講習会の目的を達成するために、参加者へどのように伝えるか具体的に考えました。スキルトレーニングについては、教える立場の自己スキルを確認し、スカウトに提供するプログラムの質的・量的向上にスカウトスキルを活用するための方法を話し合いました。



Facebook活用講座

日時:2020年1月19日(日) 場所:静岡市中央体育館青少年研修センター

組拡広報委員SNS担当:西尾 崇伸

2020年1月19日、本年度も無事Facebook活用講座を開催することができました。本年度は19名の参加と、例年にも増して多くの方にご参加いただきました。

現在、国内における個人でのインターネットの利用率は80%を超えており、年を追うごとに我々の生活におけるウェブの重要性は増えています。いまや多くの個人や団体がウェブ上にサイトを持っている時代となりました。

そのような時勢の中で各団でもウェブを使用した広報活動を展開しなければなりません。そこでSNSを使用したウェブ戦略を数年前から組織拡充・広報委員会ではこの講座を通してお伝えしてきました。開設の仕方から始まり、ウェブを使用するうえでの注意点はもちろん、より訴求力の高い投稿方法など講座ではお伝えしました。

来年度はSNS活用講座として名称を少し変更して、より広い視野でウェブ戦略についてお伝えしていきたいと思っております。西部での開催を予定していますので、多くの皆様の参加をお待ちしております。

次回の講座でお会いしましょう！



志太地区BP祭

日時: 2月16日(日)
会場: 藤枝市瀬戸谷地区交流センター

志太地区 大井川第3団 カブ隊 隊長 富田 泰広



どこの団でも悩んでいるであろうスカウトの『少子化問題』。志太地区の各団でもこの問題に頭を悩ませており、とりわけカブスカウト部門では少人数ゆえに1組しか組編成が行えず、段々と活動の規模がコンパクトになっていってしまう事も…。

そこで志太地区のカブスカウト部門では、数年前からビーバースカウト部門と合同で『地区合同隊集会』を企画し、毎年工夫を凝らしたプログラムを行っています。

普段よりも大勢で行う活動を通して『志太地区にはこんなにもたくさんの仲間がいるんだよ!』と言う事をスカウトたちに知ってもらい、新たな仲間との交流や、スカウト活動への良い刺激になってくれる事を目標にしています。

今回の合同隊集会は『ワールドカフェに行こう!』と題して、世界の国々について調べ、その国の文化や言語・通貨などを楽しく学ぶプログラムを行いました。スカウト達は事前に指定された世界ジャンボリー開催国10ヵ国の国旗や国の場所・人口・首都の名前等を調べて勉強し、合同隊集会当日は各国のブースをまわって事前に調べた問題にチャレンジします。問題に正解するとその国の『通貨』が貰えます。この通貨は、事前にスカウト達が自分で作ったオリジナルの通貨です。

最終的にその通貨を会場に設けられた『ワールドカフェ』に持って行くと、その国の名物料理が描かれた『料理カード』が手に入ります。また、問題が解けないスカウト達のために『お助けヒントコーナー』も設けました。

活動が始まるとスカウト達は一斉に各国のブースに散

らばって行き、事前に勉強してきた知識を活かしてスラスラと答えるスカウトもいれば、何度もヒントコーナーを往復するスカウト達も…。中でもワールドカフェは大人気で、常にスカウト達が各国の料理カードの交換に長蛇の列を作っていました。

今回は事前に準備する料理カード等がとても多く、短い準備期間の中で用意するのは大変でした。また、本来の予定では屋外にて開催する予定でしたが、直前に荒天の予報になったため急遽会場を屋内に変更しての開催となりました。急な会場変更の手配や、現場での変更対応等で大きな混乱なく開催出来た事は流石ボーイスカウト活動に身を置いている指導者達だと感心しました。

スカウト達は普段とは違う大勢での活動にテンションが上がりっぱなしでワイワイと楽しく活動をしていました。スカウト同士で手に入れた料理カードを見せ合ったり、楽しく交流できていたと思います。また、指導者と言う立場から、他団の指導者の指導方法や考え方に触れる事が出来て良い刺激となりました。

これからも地区内のボーイスカウト活動の更なる活性化を目指して、お互いに協力して切磋琢磨していける活動を行っていききたいと思います。



◆スカウトの感想

- ・料理カードがたくさん種類があって良かった
- ・人数が多くて迫力があつた
- ・事前にやったお礼づくり(通貨の作成)が楽しかった
- ・クイズの答えが難しかったけど楽しかった
- ・いろんな国のことがわかって良かった
- ・スカウトがいっぱいいて楽しかった



三島地区BP祭

日時:2月16日(日)
会場:三島市中郷文化プラザ

三島地区 三島第3団 地区委員長 藤田 和夫



土山地区協議会長



献灯



菊章・富士章受章者表彰



ミニコンサート



献花

令和元年度、三島地区BP祭が2月16日(日)に三島市中郷文化プラザで278名の参加にて開催されました。

当日は雨天でしたが多くの参加者が有り安心しました。開催にあたっては各団順番で場所の設定やアトラクションなど地区プログラム委員会、地区コミッショナーグループと協力し行っています。受付はベンチャースカウトが行い、第一部式典では、司会をローバー隊の2人が担当し地区3役の挨拶や優秀スカウト、友情章、功労指導

者の表彰や菊・富士章スカウトの顕彰などを行いました。

第2部はアトラクションで当番団の三島第3団のボーイ隊吉利君(トランペット)、ベンチャー隊杉橋君(エレクトーン)、団委員佐野さん(トランペット)3人のミニコンサートを行いました。終盤ではヒット曲のパプリカを披露、ビーバー、カブのスカウト達がステージに出て踊り歌い会場を賑やかせました。今までに無い愉快で楽しいBP祭になりました。

発達障がい児スカウティング研修会

開催日：令和2年2月9日(日) 会場：静岡県青少年会館大ホール
参加：36名(隊指導者、団指導者)

セーフフロムハーム安全委員長 脇坂 英子

今回は小学校における通級指導教室で長年、発達障がいのある児童への指導を行っている荒井久美子教諭です。通級指導教室は、比較的障害の程度の軽い子どもが、通常の学級に在籍しながらその子の障がい特性にあった個別の指導を受けるための教室です。荒井久美子さんは焼津第1団ベンチャー隊の副長さんでもあり、お子さんたちもスカウト経験者です。今回の研修テーマは「支援が必要なスカウトとのかかわり方」です。

講義は、「普通」とはなんだろう？という問いかけからはじまりました。「普通」とは大多数の側をさすことが多く少数派は「普通ではない」と分類されて理解されにくいものです。人はみな自分を「普通」と感じています。自分と似たものは受け入れやすいが、自分と違うものは受け入れにくい。多数派ではない考え方や行動は他人に理解されにくいという制約の中で生きているということになります。参加者の個人ワークでは「指導者がスカウトに対して困ったなと思ったエピソード」を出してもらいました。次は一つのエピソードに対する解釈(理由)をできるだけたくさん書き出してもらいました。さらにその場面における、必要だと思われる具体的な支援の方法を考えてもらいました。グループで課題を共有したあと全体でも内容を共有しました。困ったスカウトは実は困っているスカウト。指導者を困らせるのではなくどうしていいかわからなくて困っているスカウト。だから支援が必要です。指導者として様々な対応を、その子の特性に合わせた的確な支援が必要とされます。実践を重ねて学んでいなくてはなりません。



講師：荒井久美子さん





《若き指導者》 第5回



浜松第24団ローバー隊 隊長 鈴木 亮介

小学生の頃に浜松第24団のカブ隊に入隊して以来、正直ここまで長くボーイスカウト活動が続けるとは思ってもいませんでした。ここまで続けてこられたのは、単純にボーイスカウトという活動が好きだったからだと思います。

大学卒業後、指導者としてこの活動に関わるようになっていったのも、大好きなこの活動で得たものを伝えていきたいと思ったからでした。ただ、実際に指導者としてこの活動に関わりはじめると、今まで分かっていたようでボーイスカウトのことを何も分かっていなかったんだと感じました。それ以降は、貪欲にもっと様々なことを勉強したいという思いで、研修所や実修所へ参加したり、自己研鑽を重ね、気が付けば地区の副コミッショナーとなり、研修所のスタッフをやらせていただくような立場となりました。自分の団以外の多くのリーダーの先輩方と関わらせていただく中で、より深く広い見識を得る機会をいただくこともできました。

そんな自分も指導者として10年以上が経過し、30代後半となり、徐々に若いとも言ってられなくなりました。今後は、今まで得た様々な経験をもとに、より自分の団の為に還元できるよう取り組んでいき、浜松第24団の将来の為に、自分が果たせる役割を担っていきたいと思います。





いつも元気だっ! ビーバーだより

みんなで たのしいおもちつき

掛川・袋井地区 掛川第2回 ビーバー隊 橋本 健介



1月19日に、みんなで
おもちつきをしました。早
く行ったので、のぼりば
たをぼうにつける手伝い
をしました。

まず、ボーイさんと大
人が、むしたもち米をき
ねでぎゅうぎゅうつぶし
ているのを見ました。ボ
ーイさんも大人もみんな
で力を合わせてやってい
たので、かんどうしました。

やっと、ぼくたちのば
んがきました。さいしょは、
そんなにおもくないと思

っていたけど、きねはけっこう重かったです。

やっとおもちがつけて食べてみたら、とてもおいし
くて、れいわ2年で1ばんめにおなかがいっぱいにな
りました。

みんなで力を合わせておもちつきができたのでよ
かったです。

『うみの環境しらべ隊』にさんかしたよ

清水地区 清水第7回 ビーバー隊 緒方 蒼真

ぼくは、1月25日に『うみの環境しらべ隊』にさ
んかしました。

こうしの先生のお話をきいた後、みんなで三ほの
海がんに行って、ごみのちょうさをしました。そして、
ひろってきた小さいプラスチックごみを入れて、万
げきょうを作りました。ぼくが作った万げきょうを
のぞいたら、花みたいな形になって、きれいでした。



その後、ミズウオのかい
ぼうをしました。ミズウオ
のおなかの中からごみが出
てこないといいなと思っ
ていたけれど、プラスチック
のひもみたいなごみが出て
きてしまって、かなしくな
りました。

こうしの先生が、
「このままだと、20年後には、
海の生きものぜんぶの

おもさより、ごみの方がおもくなってしまふ。」と教
えてくれました。

ぼくは、学校の友だちにも、ごみのすて方には気を
つけようと話していきたいと思っています。

スケートにいったよ!

浜松地区 浜松第7回 ビーバー隊 村松 大和

お正月がおわってさいしょの日よう日にはままつ
スポーツセンターでスケートをしました。はじめて
だったのでさいしょは大人にくつのはきかたをおし
えてもらってからリンクにむかいました。リンクに
入るときはとてもドキドキしたけど、さいしょにお
もっていたよりもうまくおりの上に立てたのでよ
かったです。いっしょにいったカブたいの人たちは
とてもうまくすべっていたので、ぼくもはやくおな
じくらいうまくすべれるようになりたいとおもいま
した。



カブつうしん CUB SCOUT

おいしかった芋煮

掛川・袋井地区 掛川第2回 カブ隊 石川 昭裕

ぼくは、文珠寺に行き、芋煮会をやりました。大根、
ねぎ、えび芋を使いました。大根とねぎは大人が切っ
たりしてくれて、えびいもはぼくたちがたん当しま
した。

初めに皮をむきます。えびいもは、すぐくねばねば



していて、気持ち悪かったです。それを百こ以上むきました。えび芋がたくさんあったので、みんなでたべられるのかなと思いました。そして、みんなで作った芋煮を食べました。

味はちょうどよくて、さっぱりしていて、とてもおいしかったです。えび芋はやわらかくて、口の中でとろけるようでした。今回の芋煮会はお寺のおしょうさんが材料をいろいろ用意してくれたので感しゃしています。みんなで作った芋煮は、思い出になりました。今度は、自分の家でも芋煮を作りたいです。



B-P祭で学んだこと

島田地区 島田第4団 カブ隊 塚本 彩雅



2月22日。今日はボーイスカウトの生みの親であるベーデン・パウエルの誕生日でした。ぼく達島田第4団ではこれをお祝いし、ベーデン・パウエルについて学んだり、世界の国々の料理を作りました。

まずは隊長からベーデン・パウエルの生い立ちやこれまでの活動のお話を聞きました。その中でぼくが1番印象に残っているところは最初は20人の少年とで行っていた実験キャンプが今では世界中に広がり日本に伝わってからもうすぐ100年になるということです。聞けば聞くほどベーデン・パウエルをもっともっと知りたい気持ちが強くなりました。

次に世界の国々の料理はポトフ、ミートソースパスタ、レタスサラダを作りました。みんなで協力して野菜を切ったり、具材をにこんだりしたのでとてもおいしくできてよかったです。これからも今日学んだことを活かしてボーイスカウト活動をがんばりたいと思います。

カブスカウトの事

富士宮地区 富士宮第25団 カブ隊 櫻井 蓮

ぼくは毎日家でゲームばかりしていて、ほとんど外で遊びませんでした。小学校でもらったカブスカウトのチラシを見たお母さんに「やってみたら?」と言われ、まよったけれど、習いごともしないし、月1回しかないからいいか…と思い入隊しました。

カブスカウトの活動は行く前はめんどくさいと思うけど、カブの友達も出来たので行ってからは楽しいです。

電車で出かけたり、なぞときゲームやクリスマス会も楽しいです。

特にキャンプは家では行かないし、1年目のもちつきも貴重な体験が出来たと思います。

そして気がついたら、ぼくは毎回出席していて組長になりました。なので今後も続けていきたいなと思っています。



耐寒キャンプを経験して

伊東地区 伊東第5団ボーイ隊 鬼頭 亨

2020年1月11日から13日の2泊3日で耐寒キャンプを行いました。まずは準備です。寒さの中で上手く寝られるか心配だから、寝袋を2枚重ねで用意し携帯カイロを沢山とハイキング装備、キャンピング装備等を用意しました。

当日は思ったより気温が高く、これも地球温暖化の影響かなあと感じました。ところが夜になると気温がぐんぐん下がりました。

さて、夜ご飯の準備です。隊長からの指示で炊事場をブルーシートで囲いました。暖かくて作業がしやすかったです。

1日目のメニューはカレーとナン、2日目は肉とポトフを作りとてもおいしかったです。寒い中で食べる温かい食べ物は格別でした。

2日目、キャンプの途中で成人式の奉仕活動をしました。私も立派な成人になれるかな?と思いました。

最終日はテントやブルーシートをたたみ清掃後解

散となりました。

帰り道でこの耐寒キャンプを終えていろいろな経験を少し大人になったかな? と思いました。



忘年キャンプ

富士地区 富士第 9 団 ボーイ隊 嶋田 琉星

12 月の 1 泊 2 日のキャンプでは、おかざり作りをしました。団委員さんに一つ一つ、ていねいに教わりながら作りました。途中、失敗しながらも、全員最後まで作ることができました。自分で作ったおかざりは、お店で買ったものよりは質素だったけれども、自分で最初から作ったからこそ、玄関にかざったからこそ、かざった時はとてもうれしかったです。

キャンプの最後は、ビーバー隊やカブ隊、団委員、保護者みんなで主な活動場所である田子地区の清掃活動を行ないました。普段ではあまり気にする事のない道でも、たくさんのゴミがありました。どんなに小さなゴミでも、あつめるとかなりの量になりました。少しでも街をきれいにして新年を迎えることができてよかったです。



BP 祭に参加して

三島地区 三島第 3 団ボーイ隊 久原 誠仁

ぼくは、地区の BP 祭で「ちかいの言葉」を言うという役をやりました。

本番では、少しきんちょうしたけどまちがえませんでした。

BP 祭の後は、三島第 3 団の、ボーイ隊とベンチャー隊のせんばいと団委員の人が「トランペット」

と、「エレクトーン」を演奏してくれました。トランペットは、「アラジンの曲」や「3 月 9 日」などを吹いてくれました。とてもいい音がしてくれいでした。エレクトーンは、「下町ロケットのテーマ曲」などをひいてくれて、いろいろな音がいっしょに出てかっこいいなと思いました。最後は 3 人が「パプリカ」を演奏してくれたので、みんなでおどって、とても盛り上がりました。

ぼくは、来年の BP 祭もおもしろいものが見たいなと思いました。

指導者だより

水辺の楽校で野鳥観察

富士宮地区 富士宮第 22 団ビーバー隊副長 院南 五月

隊集会前、BVS リーダー達は野鳥の観察会に参加しました。そこで双眼鏡の使用方法や鳥の種類の見分け方のポイントを学び、たくさんの野鳥を実際に見て興奮！この感動をぜひスカウト達に伝えたいと隊集会に臨みました。

隊集会の当日、水辺の楽校の池に到着すると…いきました！たくさんの水鳥。早速双眼鏡の使い方から教わるスカウト達。図鑑と照らし合わせながら観察しました。鳥達を驚かさないように小声で話し、一生懸命双眼鏡を覗き込むスカウト達の眼差しは真剣です。残念ながらカワセミには会えませんでした。カルガモ、マガモ、キンクロハジロ、オシドリはじっくりと観察できました。

今回スカウトが野鳥に興味を持ついい機会となり、良かったなあと実感するとともに、リーダーとして野鳥の知識を深めておき、いつでもスカウトの興味に応えられるようにしたいと思いました。



活動の一瞬

三島地区 函南第 2 団 団委員長 白井 豊章

餅つきの準備をしていたのですが、「ガラパゴス・ゾウガメ」というリーダーの声のあと、ざわめき、そして大きな笑い声、振り向いたわたくしに保護者も



参加して行われているゲームで、手を繋いだみんなの笑顔が目映りました。この一瞬は当団が活動拠点として、倉庫も設置させていただいている、間宮区にある「神明神社」で毎年行われる団行事の「2団の集い」でのことです。この瞬間が、あるから活動を長く続けてこられたのだと改めて思い、こんな瞬間を見せてくれる、スカウト、リーダーは勿論ですが、この活動を理解し、協力してくれる保護者、地域の皆さんに、改めて常に感謝の心を忘れずにいなければと思ひ直しました。そうそう、大事な指導者仲間も、一番大切な家族への感謝も忘れてはなりませんよ。



熱海市民駅伝に参加しました

伊東地区 熱海第11団 団委員長 大山 正晃

第16回熱海市民駅伝競走大会が開催されました。熱海第11団は今年もゴールテープを担当しました。市長、教育長以下小中校の先生方も含む多くの市民の皆さんが応援されますので、スカウト達の制服での奉仕の姿を皆さんにお見せ出来る絶好の機会です。ゴール付近に設置した黄色のスカウト活動中のぼり旗を熱海市議会議員の米山秀夫さんが目ざとく撮影しフェイスブックにお褒めの言葉とともにアップしてくださいました。

アンカーは小学男子の走区です。大いに健闘し4位でゴールに駆け込んだ当団スカウトを同級生のスカウトがゴールテープで迎える感動のシーンもありました。



日本連盟100周年に向けて思うこと

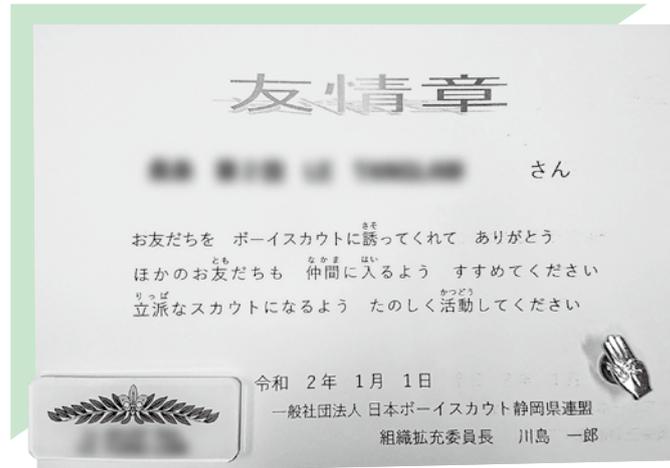
磐田地区 磐田第11団 団委員長 琴岡 義久

最近、日本連盟100周年に向けての準備が始まっておりますが、私も昔の資料を整理したところ、保管箱にアメリカ連盟100周年記念グッズがありました(添付写真)。これらは、ボストンに住む同じ会社のアメリカ人から頂いた物です。その彼と、以前私がアメリカに出張した際、ボーイスカウト活動について話す機会があり、指導者として活動を続けていると話すと「Great!(素晴らしい)」とほめて下さり、それだけで交友が深まりました。残念ながら日本では、「物好きだね。よくやるねえ!!」と揶揄されますが、この差はいったい何なのでしょう。ボーイスカウト運動の創始者:ベーデンパウエル卿の言葉に、「家庭にあっては良き家庭人、社会にあっては良き社会人、世界にあっては良き世界人になれ!」とあります。この言葉に従い我々指導者は、家庭を大切に社会に貢献し、世界に目を向けていくバランス感覚を養っていく必要があると思っております。もちろん私も、これから100周年に向けて、良き家庭人&世界人となれるよう努力していきたいと思ひます。





友情章はスカウトが新しく仲間に入る友達を隊長に紹介すると静岡県連から顕彰され、副賞としてネームプレート^{ネームプレート}を贈呈する静岡県独自の制度です。保護者の皆様も知り合いのかたを隊長に紹介頂き、スカウトとして登録されますとお子様にネームプレートが授与されます。ご協力頂ければ幸いです。



おめでとう!! 17 名の仲間が 友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。
記念品は上のネームプレート^{ネームプレート}がもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

令和 2 年 3 月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・広報委員会

氏 名	地 区	所 属
渡 邊 真 杜	志 太 地 区	焼 津 第 5 団 C S 隊
大 塚 晃 聖	志 太 地 区	焼 津 第 5 団 C S 隊
松 本 憲 史 郎	浜 松 地 区	浜 名 第 1 団 B V S 隊
LE TUNGLAM	沼 駿 地 区	長 泉 第 2 団 B V S 隊
山 瀬 由 季 乃	沼 駿 地 区	長 泉 第 2 団 C S 隊
大 竹 利 空	沼 駿 地 区	沼 津 第 4 団 B V S 隊
長 島 美 澄	伊 東 地 区	伊 東 第 5 団 C S 隊
鈴 木 理 子	伊 東 地 区	伊 東 第 5 団 C S 隊
太 田 幸 佑	伊 東 地 区	伊 東 第 5 団 C S 隊
稲 葉 早 羽	伊 東 地 区	伊 東 第 5 団 C S 隊
高 田 理 帆	静 岡 地 区	静 岡 第 2 7 団 B V S 隊
川 村 大 進	志 太 地 区	大 井 川 第 3 団 C S 隊
川 村 悠 進	志 太 地 区	大 井 川 第 3 団 B V S 隊
上 村 駿	浜 松 東 地 区	浜 松 第 3 0 団 B S 隊
西 川 瑞 基	島 田 地 区	島 田 第 5 団 B S 隊
松 浦 秀 介	志 太 地 区	焼 津 第 1 団 C S 隊
今 本 空 良	志 太 地 区	焼 津 第 1 団 C S 隊



マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。

ボーイスカウト 最高位受賞報告
県内8人
全国のボーイスカウトの最高位「富士スカウト章」を授けられた。今年度は、県内8人がこの栄冠に輝いた。受賞者は、川勝平太知事から記念の盾を受け取った。受賞者らは、25日、県庁を訪れた。日本ボーイスカウト県連盟所属する受賞者12人のうち、浜松、焼津、三島など各市の団体に所属する18・19歳が、活動の成果を報告した。受賞者を代表して中嶋みと葉さん(18)が、松第12団が「中会」と学びの質の高さがボーイスカウトの魅力。スカウト活動でも人生でも、さらに成長したい」とあいさつした。

川勝知事は「富士の名を冠した盾は特別なに受賞した団体のスカウト員に、後輩のモデルにならしてほしい」と激励し、記念の盾を授与した。

静岡新聞 令和2年3月27日(金) 朝刊に掲載

最高位「富士章」受賞
川勝平太知事(前列中央)を表彰訪問した、中嶋みと葉さん(同左から2人目)ら8人と関係者

中嶋みと葉さん 活動の魅力幅広く発信
日本ボーイスカウト県連盟所属の12人が、全国で145人に与えられた「富士スカウト章」を受賞し、その内の8人がこのほど、県庁で川勝平太知事(71)を表彰訪問した。同章は、ボーイスカウトの能力の証しとして、中3の9月から18歳の3月までの世代に贈られる最高位の章。全国4位の受賞者数となった。

ボーイスカウトのネッカーチーフを首元につけた県連盟長の川勝知事から「県は日本のボーイスカウト発祥の地。来年、日本連盟より1年早く、わが県連盟が100周年を迎えます。みなさん、先輩に勝るとも劣らないリーダーになってください」と励まされ、記念の盾を授けられた。

出席者を代表して、小1から活動している中嶋みと葉さん(18=浜松第12団・浜松北高出)は「ボーイスカウト活動の持つ可能性に気づき、活動の魅力幅広く発信していくという新たな目標を見つけました」とあいさつ。今回の受賞までの出会いと学びを生かし、成長していくことを誓った。【倉橋徹也】

◎日刊スポーツ静岡版
令和2年4月2日(木) 朝刊に掲載



街頭募金を寄託
日本ボーイスカウト 静岡第27団
静岡第27団(松田奨団委員長)は21日、静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団の「愛の都市」訪問に5万6106円を寄託した。写真II。15日にJ.R静岡駅周辺で恒例の街頭募金活動を行い、愛の都市訪問への協力を呼び掛けた。

静岡新聞 令和元年12月22日(日) 朝刊に掲載

背筋伸ばし精神集中
20人が
座禅体験
伊豆新聞
令和2年1月7日(火) 朝刊に掲載

伊豆新聞 令和2年1月7日(火) 朝刊に掲載

BS浜松第24団 街頭募金を寄託
日本ボーイスカウト 浜松第24団(山屋団委員長)は22日、静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団の「愛の都市」訪問に4万8600円を寄託した。15日に団員約30人がJ.R浜松駅周辺で街頭募金を行った。「恵まれない人たちのために使つて」と呼びかけ、一部を中区の静岡新聞社・静岡放送浜松局に届けた。写真II。

静岡新聞 令和元年12月23日(月) 朝刊に掲載

市老連だより
伊豆新聞 令和2年1月14日(火) 朝刊に掲載

伊豆新聞 令和2年1月14日(火) 朝刊に掲載

元気に「おめでとう」
BSGS
伊豆新聞 令和2年1月14日(火) 朝刊に掲載

伊豆新聞 令和2年1月14日(火) 朝刊に掲載

伊豆新聞 令和2年1月7日(火) 朝刊に掲載

伊豆新聞 令和2年1月7日(火) 朝刊に掲載

静岡市老人クラブ機関誌 令和2年1月発行

※いろいろな所にボーイスカウトの活動が新聞雑誌、ネットなどに掲載されているのを見つけた方は静岡県連まで御一報ください。

おしらせコーナー

定時総会のご案内及び指導者養成事業の延期について

令和 2 年度 定時総会・表彰式、交歓会

- 日 時：令和 2 年 6 月 6 日(土)
10 時 30 分 組織拡大会 11 時 30 分 表彰・総会受付開始
12 時 30 分 表彰式 13 時 45 分 定時総会
17 時 00 分 交歓会 会場：なすび
- 会 場：清水テルサ 静岡市清水区島崎町 2 2 3
* 地区・団の代表者 1 名は、必ずご出席をお願いします。

指導者養成事業の中止および延期

(新型コロナウイルス感染への対応)

指導者養成事業(導入訓練課程、基礎訓練課程、上級訓練課程)は
4月1日(水)～5月17日(日)までの間は中止とし、それ以降に延期致します。



3 T C デザイン 受賞作品紹介

浜松東地区 浜松第 11 団カブ隊隊長 大石 護
3 T C のシンボルマーク募集で最優秀賞を受賞頂きました。今回 3 度目の開催という『3』をデザインしたボーイスカウトサインを中央に描き、囲む東海 4 県の特徴を色で表現しました。愛知県は織田信長や名古屋グランパスの赤、岐阜県は飛騨高山など山をイメージした緑、三重県は自然の豊かさや人の温かさを象徴したオレンジ、そして静岡県はお茶と富士山を表現する緑と青。これらを赤・青・緑・オレンジの 4 色にまとめました。自分にとっても思い出に残るデザインを共有して頂ければ嬉しいです。

静岡県の入賞者 ・最優秀賞 浜松第 11 団カブ隊 隊長 大石 護
・佳 作 静岡第 27 団ベンチャー隊 池谷 紀美



お詫び：たちばな 158 号記事の中で所属団・隊の誤記がありました。謹んでお詫び申し上げます。以下の通り訂正させていただきます。
8 頁 / 三島第 3 団⇒三島第 5 団 10 頁・12 頁 / 三島第 5 団ボーイ隊 酒井舞華⇒三島第 5 団ベンチャー隊 酒井舞華

編 集 日 記

年度末は新型コロナウイルス問題で様々なイベントが中止・延期となり大変でした。新年度の活動開始とともに「たちばな」も前年度以上に充実した内容を目指します。皆様からのご意見・情報及び取材依頼を県連事務局までお寄せ下さいますようお願い致します。

広報「たちばな」編集部 杉山 文朗

広 報 “たちばな” 2020 年 4 月
発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1
県青少年会館内
TEL054-255-6185 FAX054-255-6186
http://bs-shizuoka.com
編集責任者 組織拡充・広報委員長 川島 一郎
印 刷 三富印刷株式会社
静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL053-467-4678
発 行 部 数 4,100 部